

初公開



受け継がれてきた坪田譲治の万年筆

初公開



横溝正史譯
『地下鐵サム 世界探偵小説全集7』
(平凡社、昭和4年)

特別展

2025.2.23(日) ≫ 6.8(日)

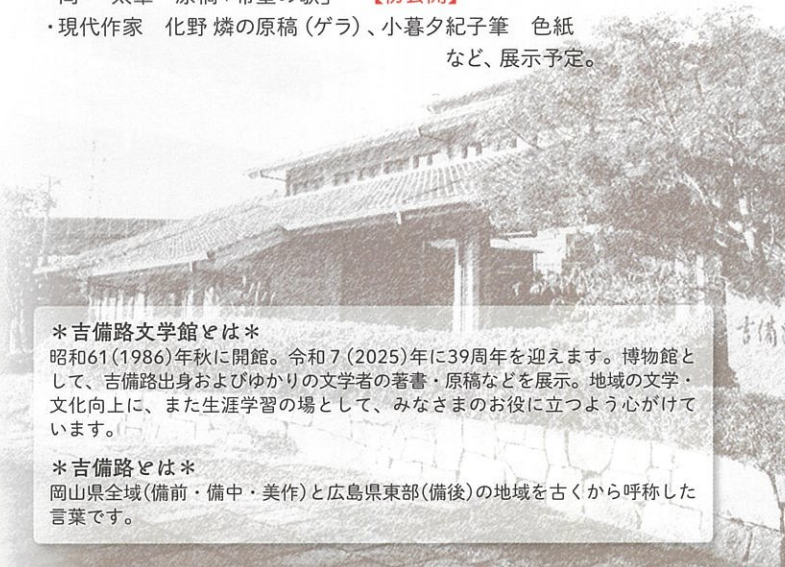
新収蔵品展

—吉備路文学館へようこそ—

長年、吉備路文学館は多くの方に支えられてきました。感謝の気持ちと、これからもどうぞよろしくお願い申し上げますという気持ちをこめ、近年、吉備路文学館で新たに収蔵した資料（原稿・図書・雑誌など）を展示いたします。

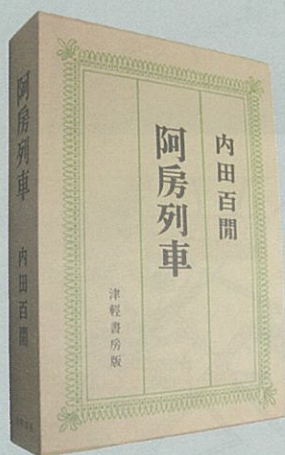
吉備路文学館では、新しい資料を「吉備路文学館へようこそいらっしやいました」という気持ちで迎えています。
資料も、お客様も、吉備路文学館へようこそ。

- ・内田百閒筆 原稿「山陰本線阿房列車」と「不知火阿房列車」
- ・柴田錬三郎筆 色紙、愛用の落款印 **【初公開】**
- ・岡 一太筆 原稿「希望の歌」 **【初公開】**
- ・現代作家 化野 燐の原稿（ゲラ）、小暮夕紀子筆 色紙など、展示予定。

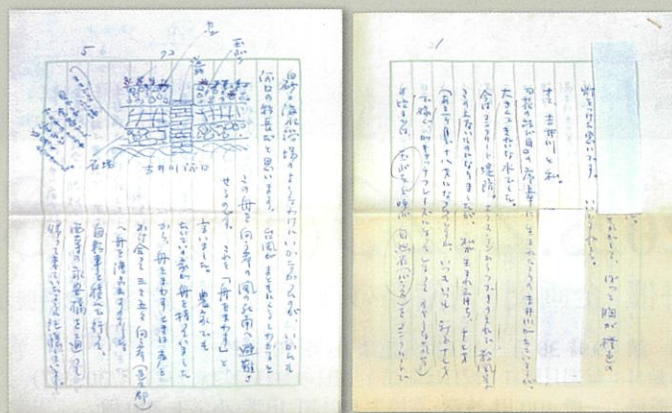


吉備路文学館とは
昭和61(1986)年秋に開館。令和7(2025)年に39周年を迎えます。博物館として、吉備路出身およびゆかりの文学者の著書・原稿などを展示。地域の文学・文化向上に、また生涯学習の場として、みなさまのお役に立つよう心がけています。

吉備路とは
岡山県全域(備前・備中・美作)と広島県東部(備後)の地域を古くから呼称した言葉です。



内田百閒著
図書『阿房列車』
(津軽書房、昭和51年)



時実新子筆 吉井川の思い出をつづった書簡(昭和59年)

北泉庭のご案内



うこん桜



庭の梅

吉備路文学館には、小さな日本庭園があります。館内からゆっくりながめたり、庭をめぐってみたり。四季それぞれの彩りをお楽しみいただけます。

うこん桜だより



春、吉備路文学館の北泉庭では、うこん桜を楽しむことができます。開花は、ソメイヨシノより少し遅めの、4月上旬頃です。電話でお問い合わせいただければ、桜の今の状況など、お伝えいたします。吉備路文学館公式X(旧ツイッター)もチェックしてみてくださいね。